

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月10日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	いわき市	代表者名	市長 内田 広之		
担当者部署	常磐支所市民課	連絡先電話番号	0246-43-2111		
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	松崎 伸一	連絡先E-mail	
住所	972-8321 福島県いわき市常磐湯本町吹谷76-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	常磐地区における市街地再生整備計画を進める上で、その中心となる機能の一つである図書館の運営手法について、行政の関係課等と地域まちづくり団体が意見交換を行って、アドバイザーから直営・一部委託・指定管理それぞれのメリット・デメリットについて、具体的な事例を交えながら支援・助言があり、今後常磐地区に出来る図書館にはどのような運営手法が適切なものかより深い具現化に向けた検討ができるようになった。
アドバイザーへの要望事項	引き続き常磐地区の特色を出した図書館作りと運営についてアドバイスをお願いしたい。また、公民連携による事業展開や、市民活動が積極的に参画している事例などさらにお示しいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年7月21日	支援・助言（実地）	有	令和4年11月9日	361
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年11月10日	支援・助言（実地）	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	あとち集会所	最寄駅	JR常磐線湯本駅	
	所在地	福島県いわき市常磐湯本町天王崎33	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員、じょうばん街工房21会員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	常磐地区交流拠点施設整備事業における公共機能（支所・図書館・多目的スペース等）の計画妥当性、規模感が適切かについてコンセンサスが取られていない現状がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	各公共機能の計画・規模妥当性について相互理解し情報共有することを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	支所・図書館・多目的スペースで共通に言えるのが具体的な利用イメージで、多目的は無目的になり、成功していると言われる公共のホールの稼働率は高くない。地域住民に費用負担が不可避であってもホールが欲しいのかヒアリングする必要がある。ホール・諸室機能についても地域の旅館、ホテル等でカルチャー+アクティビティの役割を担うことも可能。図書館の指定管理についても今後ある程度の自治体相違（東京23区）がないと難しくなっている。直営+地域住民の市民協働運営が	

	今後の可能性の把握が課題として残っており、特に難しいとしている。②地域住民の期待と協働運営が実際やり易い。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後、DX・業務効率化において各公共機能における人員については減少することは間違いない。また、地域サークル等も縮小傾向にあり、ホールや諸室といった多目的施設が本当に必要なのか地域ヒアリングに繋げる動きを確認できた。図書館運営についても今後の市の状況を踏まえると、指定管理が正しいのかという議論に広がった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DX・業務効率化による人員減は理解できるが、計画上果たしてどの程度の規模感が正解なのか今後の議論が必要。図書館についても直営での運営が理想だが、総合図書館+市内他エリア図書館との調整が必要になる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 少人数の意見交換の場ということでアンケートは実施せず。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	常磐地区交流拠点施設整備事業の公共機能が維持費を含め将来的に住民の負担とならない適正な規模となるよう計画策定する。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



